

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（3年次）

# ～TANKYU～

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2023. 12. 18  
No.37 文責 安達

あおば学級 自立活動 「どんな気持ちかな」

あおば学級

授業研究

成果と課題

## 課題1 「児童の発言を引き出す進め方・待ち」

- 毎日ためている『愛哩の🌸カード』が「いいところ探し」のヒントになった。
- 自分で「いいきもち」と書けた。
- △感じているものと感情を表す言葉が繋がりにくい。
  - 表現するのに適した言葉が繋がるような支援が必要になってくる。形容詞などの言葉カードを用意して語彙を増やす。
- △ギャップを埋める問いかけ、問い返しをして気持ちを表出できるようにする。
  - 「何でそう思ったの?」「それって、どういうこと?」



## 課題2 「主体的な活動にするために」

- 初めは「いいところない」と言っていたのが、教師が隣に座って一緒に書くと、「まだある」と、進んで書くことができた。
- △気持ちを客観視できる手立てを考える。
  - 気持ちカード(☺・♥・ピンクが増える)を使って、見て分かるようにする。
- △頑張っていることをほめる、評価することで、本人も自分を客観的にみて主体的に動けるようになるのでは。

### 【楯特大江校 江部先生のご指導から】

- ・最後まで授業に向き合っていた。「いいところさがし」が、だんだん主体的になっていた。
- ～自立活動について～
- ・自立活動の評価をするにあたり、内面の評価は難しいので、どんな行動に表れるのを見取っておく。自分自身の変化に気づいていれば、自己評価できたといえる。
  - ・実態把握が大事。そこから課題の焦点化ができる。今すべきことは何か、「〇年後の姿」を考えた段階的な指導内容を計画する。(よくばらず!)